

本センターは、2013年度より越境地域政策研究の基礎的研究、社会的実用研究を促進するとともに、研究成果の全国への波及を目指し越境地域政策研究フォーラムを毎年開催してまいりました。

こうした中、2023年7月には国土形成計画法に基づき「第三次国土形成計画」が閣議決定され、人口減少や災害リスク、気候変動や国際情勢を踏まえた総合的な国土計画が定められました。

今回の越境地域政策研究フォーラムでは、基調講演として国土形成計画をふまえた新たな国土づくりについてお話しいただくほか、分科会では縮減社会に向けた可動的なまちづくりへの展望や人流データを用いた空間分析に関する議論が行われます。

あらゆる境界を越えようとする、越境地域政策に関心を持つ皆様のご参加をお待ちしております。

日時:2024年 2月10日(土) 10:00～ オンライン開催

10:00～12:00

午前の部

あいさつ 広瀬 裕樹 (愛知大学学長)

趣旨説明 戸田 敏行 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター長)

## ■ 基調講演「新たな国土形成計画と中部圏の持続的な地域戦略」

佐藤 守孝氏 (国土交通省中部地方整備局 副局長)

## ■ 三遠南信シンクタンク連携報告

千葉 堂能氏 (公益社団法人東三河地域研究センター 研究員)

13:30～17:40

午後の部

### 計画行政コア：可動的なまちづくりへのアプローチ (13:30～)

◇コーディネーター： 戸田敏行(愛知大学地域政策学部 教授)

◇コメント： 佐藤守孝氏(国土交通省中部地方整備局 副局長)

分科会  
1

#### 【パネラー】

・自動車と可動空間： 熊瀧潤也氏(スズキ株式会社 次世代モビリティサービス本部長)

・地域経済の活性と可動性： 宮川直樹氏(豊橋信用金庫 常務理事)

・多様な参加と分身ロボット： 高垣内文也氏(株式会社オリイ研究所 OriHime事業部長)

・新たな可動性・ドローン物流： 内田貴啓氏(HMK Nexus株式会社 代表取締役社長)

### 地域システムコア：人流データの活用 (15:40～)

◇コーディネーター： 蔣湧(愛知大学地域政策学部 教授)

#### 【発表】

・人流データ活用の可能性と課題： 永田彰平氏(東北大学災害科学国際研究所)

・人流データでみる祭礼見物の空間的特徴： 佐藤弘隆(愛知大学地域政策学部 准教授)

・人流データを利用したまちづくりイベント来場者の空間特性分析： 駒木伸比古(愛知大学地域政策学部 教授)

・人流データの紹介と活用事例： 高野桂一氏(ジオテクノロジーズ株式会社)

分科会  
2

## 参加申込み

右のQRコードを読み取ると、下記URLの三遠南信センターHP内、フォーラム案内ページに移動します。ページ内からオンライン参加の登録をしてお申し込みください。

<http://edu.aichi-u.ac.jp/san-en/info/1170>



## ◆お問い合わせ先

愛知大学  
三遠南信地域連携研究センター

〒441-8522  
愛知県豊橋市町畑町1-1  
TEL:0532-47-4157  
FAX:0532-47-4576  
E-mail:  
sen-center@m1.aichi-u.ac.jp

\*なお、講演・発表タイトルは変更となる場合があります。

第11回 越境地域政策研究フォーラム

(2023年度)

愛知大学三遠南信地域連携研究センター